

呉市・広島大学Town & Gown構想の推進について
～呉市・広島大学が取り組む「海洋・海事」ネットワークによる国際的な教育研究活動拠点の形成～

1 概要

「呉市・広島大学Town & Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」（令和5年7月8日）の締結後、広島大学は、本市において、広島大学海洋・海事未来研究所や広島大学海洋リモートセンシング技術センター、海洋・海事学位プログラム（※1）の構築による新たな大学院の設置を検討するなど教育・研究拠点の整備を進めているほか、将来的には、海外からの多くの研究者や留学生などの受入れ等にも対応できる拠点施設の整備を検討しています。

そうした中、令和7年10月に、広島大学生物生産学部附属練習船基地（呉市宝町7番4号）に併設して、新たに広島大学海洋・海事未来研究所が設置されます。

今後、この広島大学海洋・海事未来研究所の設置を起点として、本市において、広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置、海洋・海事学位プログラムの構築へ向けた検討など、呉市と広島大学の「海洋・海事」ネットワークによる国際的な教育研究活動拠点の形成が進められていきます。

呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成

- 広島大学海洋・海事未来研究所の設置
- 広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置
- 海洋・海事学位プログラムの構築による新たな大学院の設置
- 呉市・広島大学Town & Gown Officeの設置
- 海洋・海事分野の国際学会・国際会議の誘致
- 海洋・海事分野のスタートアップ企業の誘致
- 世界海事大学（WMU）（※2）との連携強化 など

※1 海洋・海事学位プログラム

国内外から学生を受け入れ、海洋・海事に関する人材を養成する博士課程前期（2年）、後期（3年）の大学院学位プログラム

※2 世界海事大学（WMU）

国際海事機関（IMO）（※3）が昭和58年にスウェーデンのマルメ市に設立した世界の海事関係者の教育と訓練を行う教育・研究機関

※3 国際海事機関（IMO）

船舶の安全、船舶からの海洋汚染の防止等、海事問題に関する国際協力を促進するため、昭和33年に設立された国際連合の専門機関

2 広島大学海洋・海事未来研究所の設置

令和7年10月に設置される広島大学海洋・海事未来研究所は、海洋・海事に係る新たな研究を行うだけでなく、海洋・海事分野の人材を育成するための教育、国際連携や産学協働の推進など、多様な取組を生み出す拠点となることを目指しています。

【主な研究内容】

- 海洋政策・海洋ガバナンス・・・国際海洋法・海洋行政，経済安全保障・国際貿易，海洋資源マネジメント など
- 海洋利用技術・・・・・・・・・・造船，海上交通，物流，海洋情報，海洋調査に係るDX化 など
- 海洋環境・海洋資源・・・・・・・・水産・漁業及び海洋環境に係るGX・DX，マリンバイオテクノロジー，海洋における脱炭素，海洋エネルギー など



広島大学生物生産学部附属練習船基地

3 広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置

令和6年10月，広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが，国立研究開発法人科学技術振興機構の「共創の場形成支援プログラム」に採択されました。

広島大学は，この大型助成事業への採択を最大限に活用し，令和8年度中に，広島大学海洋・海事未来研究所内に海洋リモートセンシングで得られたデータの分析や技術開発などを行う海洋リモートセンシング技術センターの設置を目指しています。

※ 海洋リモートセンシング技術とは，人工衛星等を用いて海洋環境を非接触で観測する技術で，海水温や栄養塩，藻場の生育状況などの把握のほか，赤潮の発生や土砂災害による海洋への被害予測，船舶の識別などに活用されています。

4 海洋・海事学位プログラムの構築

広島大学は、令和5年7月に世界海事大学（WMU）と大学間国際交流協定を、令和6年3月に海上保安大学校及び広島商船高等専門学校を始めとした全国五つの商船系高等専門学校と交流及び連携・協力の推進に関する包括協定を締結し、高いレベルの国際的な海洋・海事分野での人材育成に取り組んでいます。

現在、呉工業高等専門学校も含め、海上保安大学校及び商船系高等専門学校並びに世界海事大学（WMU）が連携して、海に関わる高度人材の育成、学術と実学を掛け合わせた連携と文理融合による人材育成を図るため、広島大学の新たな大学院の設置に必要な海洋・海事学位プログラムの構築に向けた検討が進められています。

5 呉駅西中央ビルへの拠点施設の整備

将来的に新たな海洋・海事の拠点施設が整備されるまでの間、本市が所有する呉駅西中央ビル（呉市西中央1丁目3番31号）の5階～7階に仮施設を整備し、広島大学海洋・海事未来研究所の一部機能の設置、海洋・海事学位プログラムの講義や教員の研究活動等を開始することについて、現在、本市と広島大学で協議を進めています。

施設の整備に当たっては、候補場所である呉駅西中央ビルに、空調設備や照明設備、トイレの改修のほか、パーティションの設置など、必要となる設備を整備していく予定です。



呉駅西中央ビル

【呉駅西中央ビルの利用状況等】

階層	現在の利用状況	改修予定
7階	呉駅周辺整備事業の工事事務所	令和9年度
6階	空室	令和8年度
5階	呉駅周辺整備事業の工事事務所	令和9年度
4階	呉駅周辺整備事業（Cゾーン）のマンションモデルルームとして有償貸付中（準備中）	—
3階		
2階	アーバンデザインセンター準備室	—
1階	アーバンデザインセンター準備室、生活バスの待機所	—

6 財源の確保

広島大学においては、現在、海洋・海事学位プログラムを学ぶ学生のための奨学金制度の創設を検討しています。

これを踏まえ、本市においては、この広島大学の奨学金制度や将来的な拠点施設の建設費など、広島大学が取り組む事業への支援や「海洋文化都市くれ」の実現のために本市及び海洋文化都市くれ推進協議会が実施する幅広い事業の財源として、企業版ふるさと納税制度を活用した企業からの寄附募集を開始することを検討しています。

また、企業版ふるさと納税による企業からの寄附金については、「（仮称）海洋文化都市くれ推進基金」を設置して、積み立てることとし、各年度における各種事業の財源として充当していくことを検討しています。

なお、当該基金の設置については、国への手続を行うとともに、令和7年度中に条例制定の議案を提出する予定です。

7 スケジュール（予定）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
(1) 広島大学海洋・海事未来研究所の設置			
(2) 広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置			
(3) 新たな大学院の設置の検討・準備 (海洋・海事学位プログラムの開始)			

【参考】これまでの主な取組

- 令和5年 7月 呉市，広島大学，海上保安大学校及び笹川平和財団の4者で「呉市，広島大学，海上保安大学校及び笹川平和財団の呉市・広島大学Town & Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」を締結
- 令和5年 7月 広島大学が世界海事大学（WMU）と大学間国際交流連携に係る協定を締結
- 令和6年 1月 呉市・広島大学Town & Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会を設立【参画団体：国（国土交通省中国地方整備局，中国運輸局），広島県，教育・研究機関，関係団体・企業等 78団体（令和7年8月末現在）】
- 令和6年 3月 広島大学が海上保安大学校及び全国五つの商船系高等専門学校と包括協定を締結
- 令和6年10月 広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが国立研究開発法人科学技術振興機構の「共創の場形成支援プログラム」に採択
- 令和6年11月 第1回海洋文化都市くれ海博を開催
- 令和7年 4月 呉市・広島大学Town & Gown Officeのメインオフィスを呉市役所9階に設置（同年6月開所）
- 令和7年 5月 第2回海洋文化都市くれ海博を開催

その他，国際学会の開催・誘致として，令和6年9月にアジア太平洋船舶海洋構造工学会議，令和6年12月に世界船舶海洋工学フォーラムを本市で開催しました。

また，国際海洋リモートセンシング会議が令和9年に本市で開催されます。



4者連携協定の締結



海洋文化都市くれ推進協議会の設立



呉市・広島大学Town & Gown Officeの設置